

# 七戸町橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画



令和8年3月



七 戸 町

# 目 次

1. 橋梁長寿命化修繕計画策定の背景	1
2. 七戸町橋梁アセットマネジメントの基本コンセプト	2
3. 七戸町の橋梁を取巻く現状	3
3. 1 橋梁の現況（橋梁数の内訳）	3
3. 2 地理的特徴	4
4. 橋梁アセットマネジメントに基づく橋梁長寿命化修繕計画の基本フロー	5
5. 橋梁長寿命化修繕計画の策定	6
5. 1 橋梁の維持管理体系	6
5. 2 橋梁の維持管理	7
6. 橋梁長寿命化修繕計画の概要	14
7. 橋梁長寿命化修繕計画により見込まれるコスト縮減効果	17
8. 耐震補強計画	18
9. 洗堀対策計画	18
10. 費用縮減に関する今後の取組み	19
10. 1 新技術の活用	19
10. 2 集約撤去方針	19
11. 事後評価	20
12. 橋梁長寿命化修繕計画策定に係る学識経験者の意見聴取	21
13. 橋梁長寿命化対策工事リスト	22

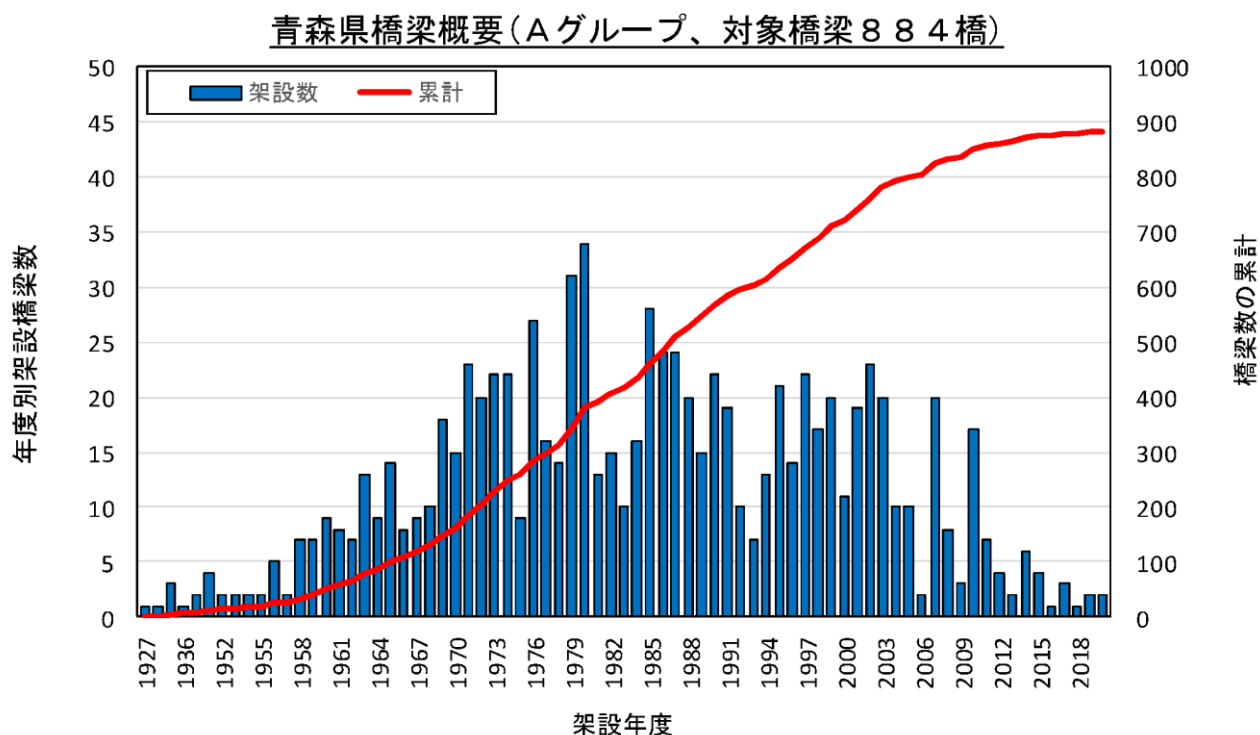
## 1. 橋梁長寿命化修繕計画策定の背景

日本国内の橋梁は、高度経済成長後期以降に集中して供用され、近い将来において大量更新時代が到来することが予測されています。したがって、今後橋梁補修・架替などの費用がこれまで以上に増大し、従来の事後対策では適切な維持管理を全ての橋梁に実施することが困難になるものと予想されます。

そうした背景から、青森県では橋梁補修のコスト縮減及び橋梁の延命化を図るため、平成16年度より橋梁アセットマネジメントシステムを構築し、平成18年3月には、橋長15m以上の橋梁を対象とした5箇年アクションプラン（平成18年度～平成22年度）を策定しました。現在は、5年に1回の定期点検の4巡目点検結果並びに平成18年度～令和3年度の計画に基づいた16年間の事業実施結果を受けて令和4年に策定した、「橋梁長寿命化修繕計画」（10箇年計画：令和4年度～令和13年度）に基づき、事業を実施しています。

七戸町が管理する橋梁は、1960年代～1990年代にかけて建設されたものが多く、今後急速に老朽化が進んでいくことが予想されることから、今回、令和7年度までに実施した定期点検結果を基に、橋梁長寿命化修繕計画（10箇年計画：令和8年度～令和17年度）を策定しました。

なお、本計画は現状の健全度・予算計画に基づいて策定したものであり、今後の点検結果及び予算の推移によって変動が生じる可能性があります。



橋長 15m以上の橋梁供用年の分布

「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

## 2. 七戸町橋梁アセットマネジメントの基本コンセプト

七戸町では、青森県橋梁アセットマネジメント※<sup>1</sup>の基本コンセプトに則り、橋梁アセットマネジメントを進めることとします。

### ●町民の安全安心な生活を確保するため、健全な道路ネットワークを維持します

これまで町民の生活を支え続けてきた多くの道路や橋梁などの老朽化が進行しており、近い将来に修繕・更新などに要する費用が膨大になるという問題が明らかとなってきました。

この問題を解決しなければ、橋梁などの劣化・損傷が進み、道路ネットワークが機能しなくなり、町民の生活に支障をきたすことが予想されます。

七戸町としては、来るべき大量更新時代に向けて、今後とも町民の安全・安心な生活を確保するため、健全な道路ネットワークを維持することに全力で取り組んでいきます。

### ●橋梁アセットマネジメントシステムによる維持管理を継続していきます

青森県では大量更新時代に対応すべく、全国に先駆けて、平成16年度から「橋梁アセットマネジメントシステム」を導入しています。これに倣い、七戸町も橋梁の維持管理に「橋梁アセットマネジメントシステム」を導入しており、今後も適切な維持管理を継続していきます。

### ●対症療法的な維持管理から予防保全による維持管理を一層進めます

橋梁アセットマネジメントシステムを導入する以前の維持管理は、「傷んでから直す、または作り替える」という対症療法的なものでしたが、将来における大きな費用負担が生じないよう、劣化・損傷を早期に発見し、「傷む前に直して、できる限り長く使う」という予防保全的な維持管理への転換を更に進め、将来にわたるLCC（ライフサイクルコスト）を最小化します。

### ●社会資本の維持更新コストの大幅削減を実現します

「いつ、どの橋梁に、どのような対策が必要か」を橋梁アセットマネジメントシステムにより適切に計画し、橋梁の長寿命化、将来にわたる維持更新コストの大幅な削減を実現します。

---

※1 アセットマネジメント：道路を資産としてとらえ、構造物全体の状態を定量的に把握・評価し、中長期的な予測を行うとともに、予算的制約の下で、いつどのような対策をどこに行うのが最適であるかを決定できる総合的なマネジメント〔「道路構造物の今後の管理・更新等のあり方に関する提言（平成15年4月）」国土交通省道路局HPより〕

### 3. 七戸町の橋梁を取巻く現状

#### 3. 1 橋梁の現況（橋梁数の内訳）

現在、七戸町が管理している橋梁は令和7年度現在で105橋あり、そのうち架設後50年経過した橋梁は31橋（30%）、30年後には90橋（86%）の橋梁が高齢化を迎えます。

構造形式は、コンクリート橋が77橋、鋼橋が28橋となっています。

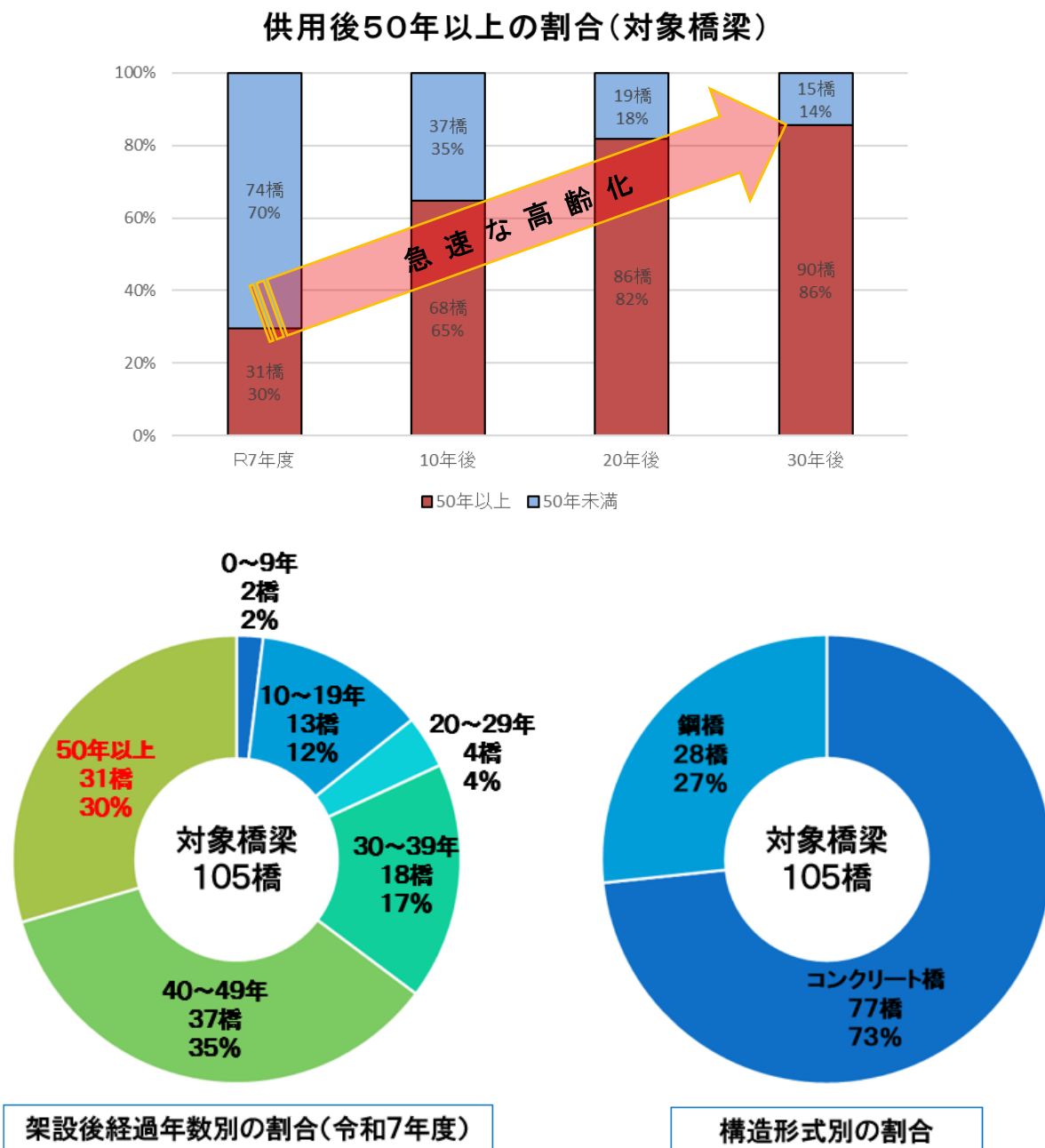


図3-1: 七戸町橋梁の現況

### 3. 2 地理的特徴

七戸町は、八甲田山系の東側に位置し、高瀬川を本流とする複数の河川が貫流している内陸部の町となっています。

気候は、一年を通じて変化が激しく、6月、7月にはヤマセのため気温の低い状態が続き、夏は短く、12月から3月にかけては北西の強い季節風が吹き、曇天、降雪の日が多くなっています。

初雪は平年では11月中旬に見られ、地域によっては最深積雪が2mを越える内陸型の豪雪地帯といえます。

冬季に散布される融雪剤により塩害<sup>※1</sup>を受けることや、気温の低下上昇の繰り返しにより凍害<sup>※2</sup>による損傷も懸念されます。



図3-2:七戸町概況図



※1塩害:コンクリート中に塩分が浸透し、鋼材を腐食させる劣化現象。



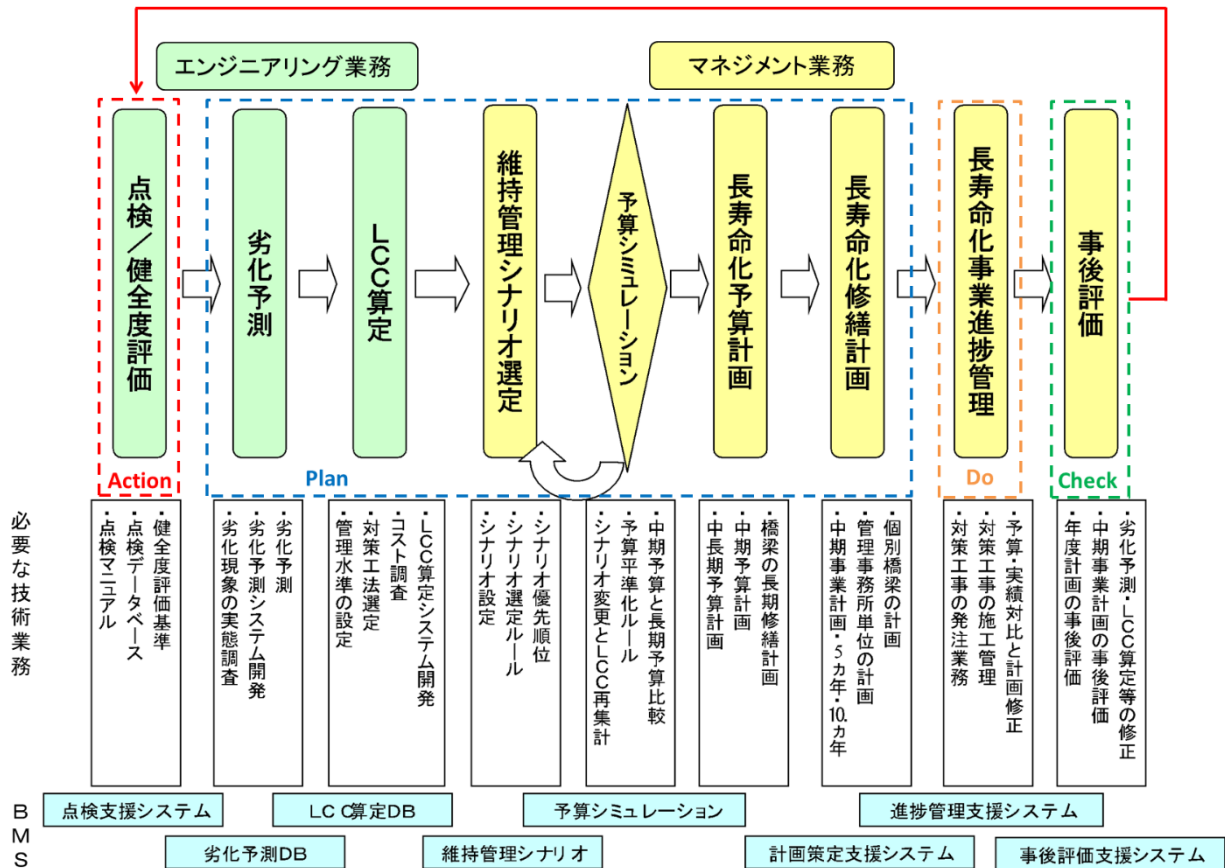
※2凍害:コンクリート中の水分が凍って膨張し、コンクリートを破壊する現象。

「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

## 4. 橋梁アセットマネジメントに基づく橋梁長寿命化修繕計画の基本フロー

橋梁長寿命化修繕計画は図4-1に示す基本フローに従って策定します。

計画策定にあたっては、ブリッジマネジメントシステム（以下、BMS）を用いて、劣化予測、LCC算出や予算シミュレーション等の分析を行います。このシステムは、計画の作成支援に留まらず、事業進捗状況の管理を支援するとともに、点検・対策データなど事後評価のための情報を蓄積することによって橋梁の維持管理におけるPDCAサイクルの構築に寄与しています。



「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

図4-1 橋梁長寿命化計画の基本フロー

## 5. 橋梁長寿命化修繕計画の策定

### 5. 1 橋梁の維持管理体系

橋梁の維持管理は、その業務内容から「点検・調査」と「維持管理・対策」に大別されます。また、「点検・調査」から得られる情報を「維持管理・対策」に反映させる際に、劣化予測・LCC算定・予算シミュレーションなどの意思決定の支援を行う「ブリッジマネジメントシステム (BMS)」と、「点検・調査」及び「維持管理・対策」の各種情報を管理蓄積する「橋梁データベース」という2つのITシステムがあります。

また、橋梁の維持管理は、「日常管理」、「計画管理」、「異常時管理」から構成されており、それぞれの管理において「点検・調査」と「維持管理・対策」を体系的に実施します（図5-1参照）。

維持管理体系におけるそれぞれの内容は以下の通りです。

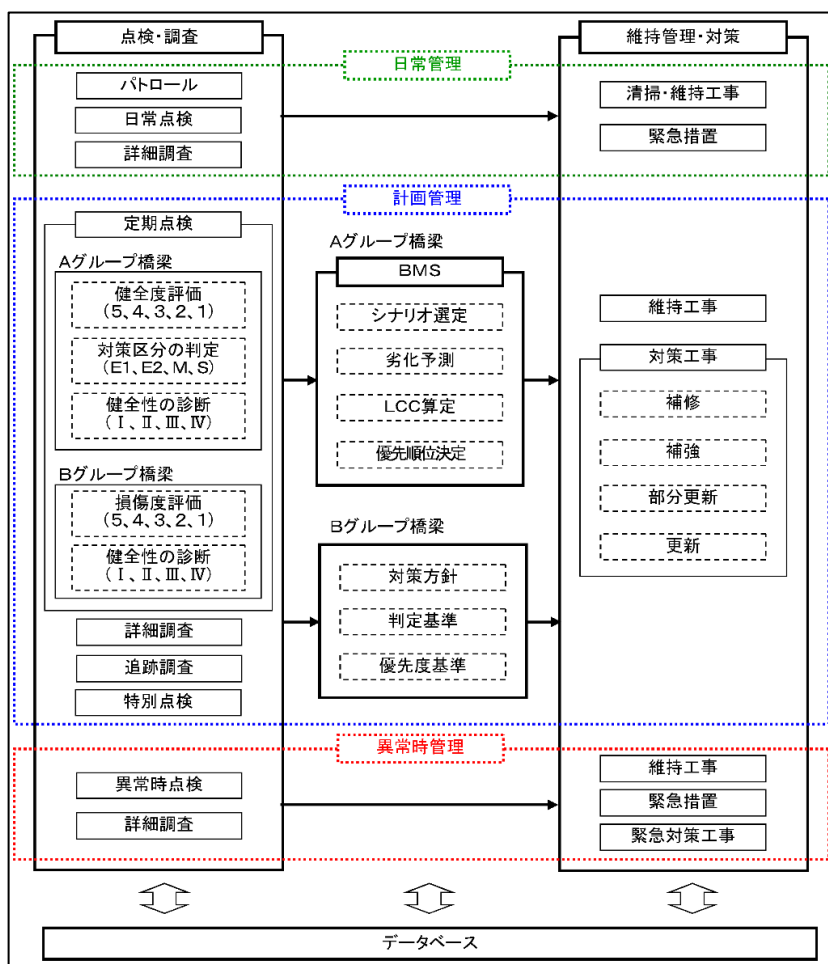
**(1) 【点検・調査】**：橋梁の状態を把握し、安全性能・使用性能・耐久性能といった主要な性能を評価するとともに、アセットマネジメントにおける意思決定に必要な情報を収集します。

**(2) 【維持管理・対策】**：橋梁の諸性能を維持または改善します。

**(3) 【日常管理】**：交通安全性の確保、第三者被害の防止、劣化・損傷を促進させる原因の早期除去及び構造安全性の確保を目的として、パトロール、日常点検、清掃、維持工事等を実施します。

**(4) 【計画管理】**：構造安全性の確保、交通安全性の確保、第三者被害の防止、ならびにBMSを活用した効率的かつ計画的な維持管理を行うことを目標に、定期点検、各種点検・調査、対策工事などを実施します。

**(5) 【異常時管理】**：地震、台風、大雨などの自然災害時、ならびに事故等の発生時に、交通安全性の確保、第三者被害の防止及び構造安全性の確保を目的として、異常時点検、緊急措置、各種調査などを実施します。



「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

図5-1 維持管理体系

## 5.2 橋梁の維持管理

BMSにより劣化予測・LCC算定・予算シミュレーションを実施し、その結果に基づいて事業計画の策定を行います。BMSは大きく5つのSTEPで構成されています。

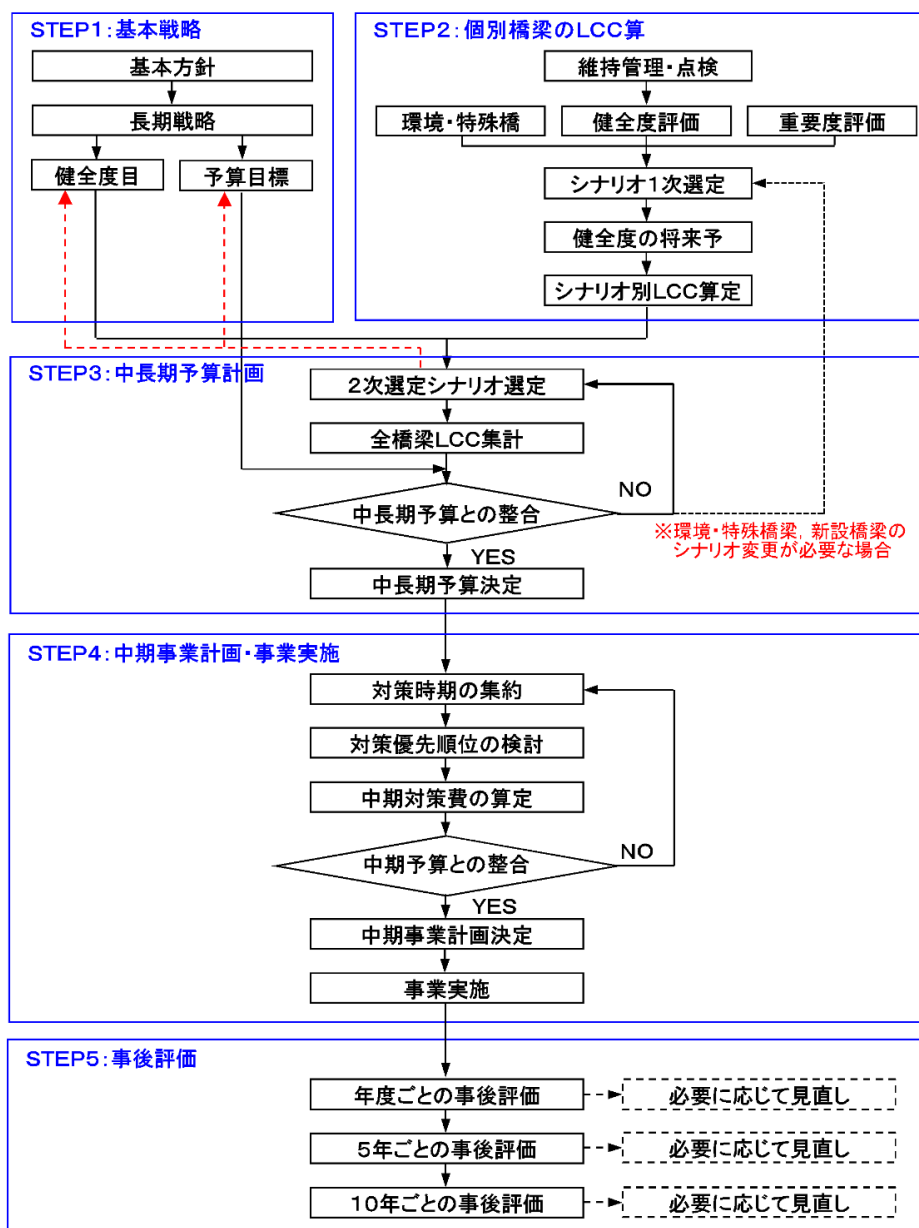
STEP1：橋梁の維持管理に関する全体戦略の構築

STEP2：環境条件、橋梁健全度、道路ネットワークの重要性等を考慮し、橋梁ごとに維持管理シナリオに基づく維持管理戦略を立て、選定された維持管理シナリオに対応するLCCを算定

STEP3：全橋梁のLCCを集計し、予算シミュレーション機能によって予算制約に対応した維持管理シナリオの変更及び中長期予算計画の策定

STEP4：補修・改修の中期事業計画の策定及び事業の実施

STEP5：事後評価及びマネジメント計画全体の見直し



「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

図5-2 BMSを用いたブリッジマネジメントのフロー

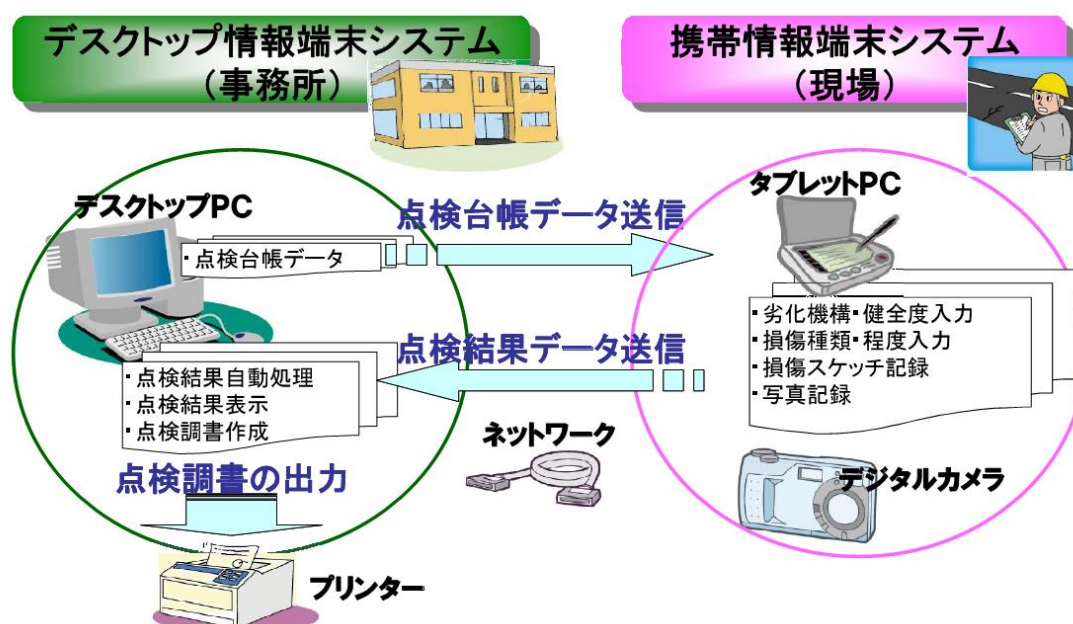
## (1) 維持管理・点検

青森県では、独自の橋梁点検マニュアルを策定し、定期点検を効率的に行うための「橋梁点検支援システム」を開発して、点検コストを大幅に削減しました。七戸町でも同様のシステム・手順により点検を行いました。

### ●橋梁点検支援システム

「橋梁点検支援システム」は、タブレットPCに点検に必要なデータを予めインストールし、点検現場において点検結果や損傷状況写真を直接PCに登録していく仕組みとなっています。

現場作業終了後は、自動的に点検結果を出力することが可能であり、これにより点検後の作業である写真整理や点検調書の作成が不要となり、大幅な省力化につながっています。



「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

図5-3 橋梁点検支援システム

●健全度評価

橋梁の健全度は、潜伏期、進展期、加速期前期・後期、劣化期の5段階で評価します。  
 全部材・全劣化機構に共通の定義を表5-1に示します。

表 5-1 全部材・全劣化機構に共通の健全度評価基準

	健全度	全部材・全劣化機構に共通の定義
	5 潜伏期	劣化現象が発生していないか、発生していたとしても表面に現れない段階
	4 進展期	劣化現象が発生し始めた初期の段階。劣化現象によっては劣化の発生が表面に現れない場合がある。
	3 加速期前期	劣化現象が加速的に進行する段階の前半期。部材の耐荷力が低下し始めるが、安全性はまだ十分確保されている。
	2 加速期後期	劣化現象が加速的に進行する段階の後半期。部材の耐荷力が低下し、安全性が損なわれている。
1 劣化期	劣化の進行が著しく、部材の耐荷力が著しく低下した段階。部材種類によっては安全性が損なわれている場合があり、緊急措置が必要。	

また、部材・劣化機構ごとに評価基準を設定しています。評価基準は健全度の定義や標準的状态、および参考写真とともに「点検ハンドブック（大阪地域計画研究所BMSコンソーシアム）」として取りまとめ、それらを点検現場に携帯することにより、点検者によって点検結果が異なることのないようにしています。

【1 鋼部材 防食機能劣化・腐食 塗装】

健全度	定義	標準的状态
5:潜伏期 (5.5-4.5)	塗膜の防食機能が保たれている期間	変色や光沢の減少が局部的に見られる。
4:進展期 (4.5-3.5)	塗膜の防食機能が徐々に低下し、塗膜下で腐食が発生する期間	光沢の減少が進行し、上塗り塗膜の消失が局部的に見られる。 点錆、塗膜のひび割れ、はがれが局部的に見られる。
3:加速期前 (3.5-2.5)	腐食が顕著になり、腐食量が加速的に増大する期間	発錆面積が2割程度である。 局部的に断面欠損が見られる(エッジ部など)。
2:加速期後 (2.5-1.5)		全体的に錆が見られる。 板厚の減少が見られる。
1:劣化期 (1.5-0.5)	腐食による耐荷力(静的引張、座屈、疲労)の低下が顕著になる期間	全体的に板厚が減少しており、局部的には1/2以下になっている。

\*)発錆面積2割程度:点錆がかなり点在している状態をいう(鋼道路橋塗装便覧より)

(桁材等)



「橋梁点検ハンドブック(2)」より

図5-4 健全度評価基準の例(点検ハンドブック)

## (2) 維持管理シナリオ

橋梁アセットマネジメントにおいては、橋梁のおかれている状況（環境・道路ネットワーク上の重要性）や劣化・損傷の状況（橋梁健全度）に応じて、橋梁ごとに適用可能な維持管理シナリオ候補を1つまたは複数選定します。

維持管理シナリオは、長寿命化シナリオと更新シナリオに大別され、長寿命化シナリオは以下の6種類を設定しています。

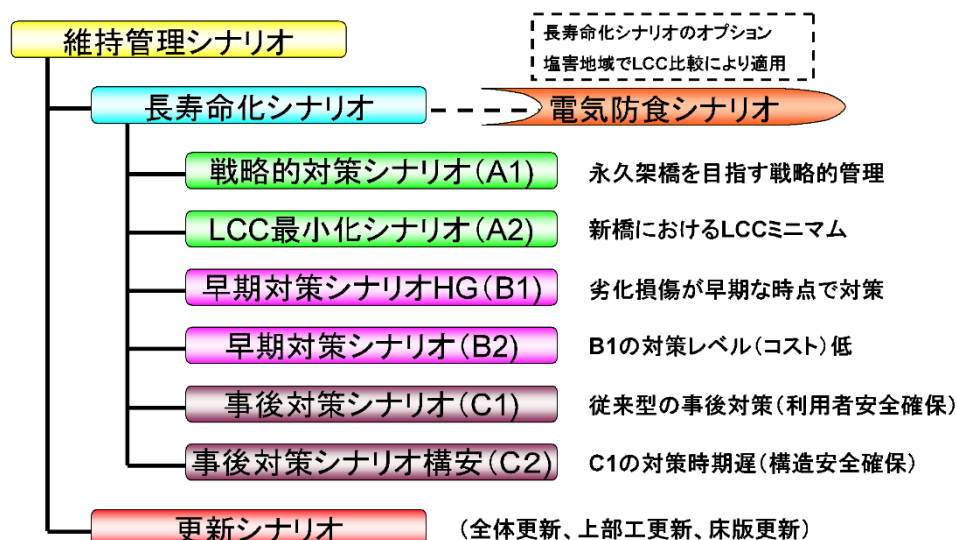


図5-5 維持管理シナリオ

### ● 戦略的対策シナリオ (A1)

アーチやトラスなどの特殊橋梁、橋長200m以上の長大橋梁、塩害対策区分Sに該当する橋梁を対象に、戦略的な予防対策を行うシナリオ。例えば、鋼部材の定期的な塗装塗替など。

### ● LCC最小化シナリオ (A2)

新設橋梁の100年間の維持管理においてLCCが最小となるシナリオ。すべてのシナリオのLCCを比較してLCCが最も小さいシナリオを選択する。

### ● 早期対策シナリオハイグレード型 (B1)

劣化・損傷が顕在化し始める加速期前期の段階で早期的な対策を行うシナリオ。信頼性の高い対策工法を選択することで初期コストは大きくなるが、事後対策シナリオよりもLCCを抑制することが出来る。例えば、鋼部材の塗装塗替において上位塗装に変更するなど。

### ● 早期対策シナリオ (B2)

B1シナリオ同様、健全度3.0において早期的な対策を行うシナリオ。B1シナリオと比較して初期コストを抑制した廉価な対策を選択するが、事後対策シナリオよりもLCCを抑制することが出来る。例えば、鋼部材の塗装塗替において同等塗装を行うなど。

### ● 事後対策シナリオ (C1)

劣化・損傷により利用者の安全性に影響が出始める前に、事後的な対策を行うシナリオ。例えば、鋼部材の当て板補強を伴う塗装塗替など。

### ● 事後対策シナリオ構造安全確保型 (C2)

C1と同様の対策を行うが、構造安全性に影響が現れる前の、健全度1.5~1.0において対策を行う。

## ●電気防食シナリオ（オプション）

コンクリート橋の桁材に対して、劣化・損傷の進行を抑制することを目的に電気防食を行う。その他の部材についてはA 1～C 2のいずれかのシナリオの対策を行う。

シナリオ候補の選定は、橋梁の健全度や架設されている環境条件、特殊性などを考慮して行います。図5-6にシナリオの選定フローを示します。

### （3）更新対象の選定

主要部材の劣化・損傷が著しく進行している老朽橋梁や、日本海側に多く見られるような塩害の進行が著しい重度の橋梁は、高価な補修工事を繰り返すよりも架け替える方が経済的となる場合があります。これらの条件に当てはまる橋梁については、LCC評価と詳細調査によって更新した方がコスト的に有利と判断される場合は、更新型シナリオを選定します。

### （4）長寿命化シナリオの絞り込み

仮橋の設置など架け替えが環境的・技術的に非常に困難な橋梁や、大河川や大峡谷に架設されていて架け替えに際して莫大な費用が発生する橋梁及びトラス橋・鋼アーチ橋並びに塩害対策区分に位置する橋梁のうち健全な橋梁は戦略的対策シナリオ（A 1）を選定します。

また、平成27年度以降供用開始した新設橋梁については、LCC最小化シナリオ（A 2）を基本とし、それ以外の橋梁は、A 2及びB 1～C 2より適切なシナリオを選定します。

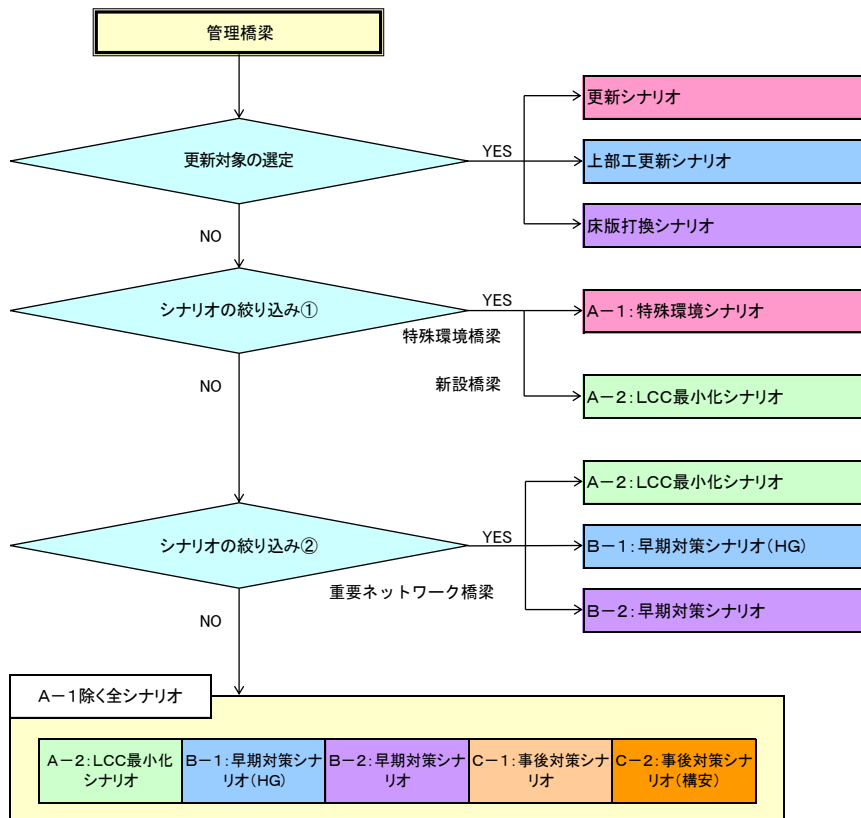


図 5-6 維持管理シナリオ候補の選定フロー

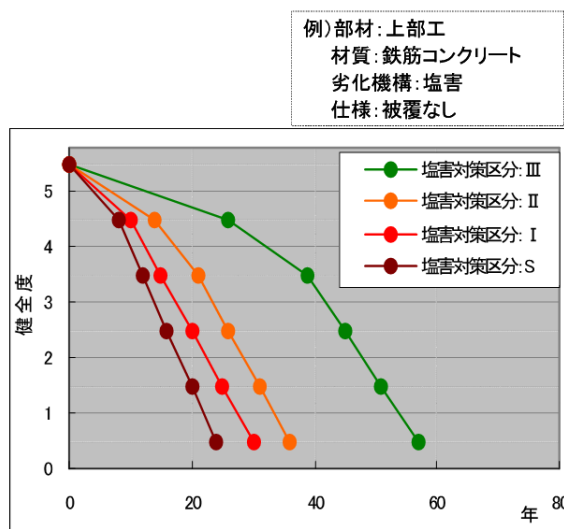
七戸町では、上記条件を参考に橋梁のシナリオを選定しました。

## (5) 健全度の将来予測とLCC算定

### ●劣化予測式の設定

健全度の将来予測は、劣化速度を設定した劣化予測式を用いて行います。

劣化予測式は、青森県の点検データや過去の補修履歴、および既存の研究成果や学識経験者の知見などをもとに、部材、材質、劣化機構、仕様、環境条件ごとに設定されています。



「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

図 5-7 劣化予測式の例(塩害)

### ●劣化予測式の自動修正

数多くのデータをもとに劣化予測式を設定しても、実際の橋梁においてはローカルな環境条件や部材の品質の違いなどがあるために、劣化は劣化予測式どおりには進行しません。そこで、点検した部材要素ごとに、点検結果を通るように劣化予測式を自動修正します。これによって、点検した部材要素の劣化予測式は現実に非常に近いものとなり、LCC算定精度を大幅に向上させることができます。

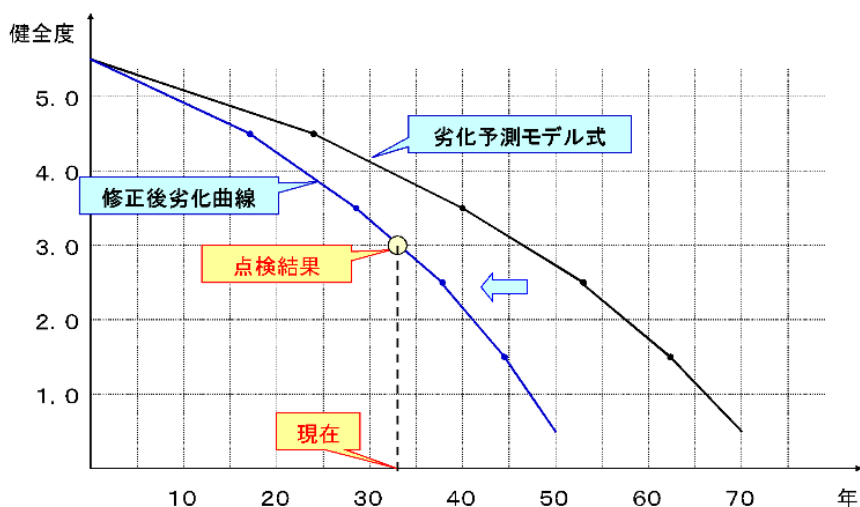


図 5-8 劣化予測式の自動修正

「青森県橋梁長寿命化修繕計画 10箇年計画 令和4年3月」より

図 5-8 劣化予測式の自動修正

## ● LCCの算定

あらかじめ対策を実施する健全度（「管理水準」という）を設定し、対策の種類や対策コスト、回復健全度、対策後の劣化予測式等の情報を整備することによって、繰り返し補修のLCCを算定することができます（図5-9参照）。

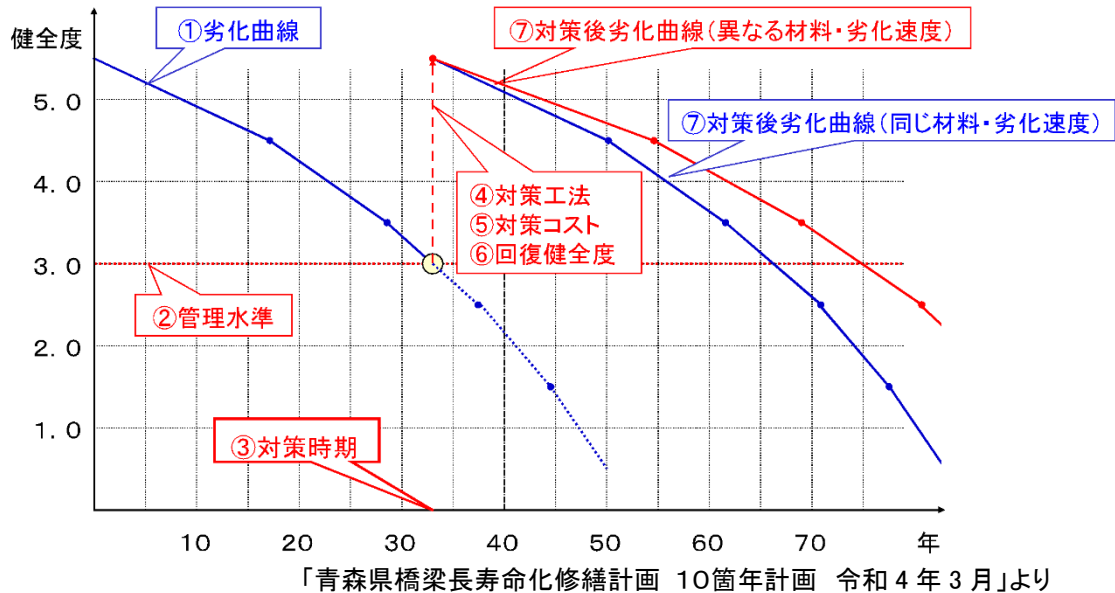


図 5-9 LCC算定

## （6）予算の平準化

- ・算定した全橋梁のLCCが年によって予算の目標値を超過する場合は、維持管理シナリオを変更し、対策時期を後の年度にシフトすることで、予算目標との調整を図ります。
- ・シナリオ変更の順序は、シナリオを変更することでLCCの増加の少ない橋梁から優先して行います。

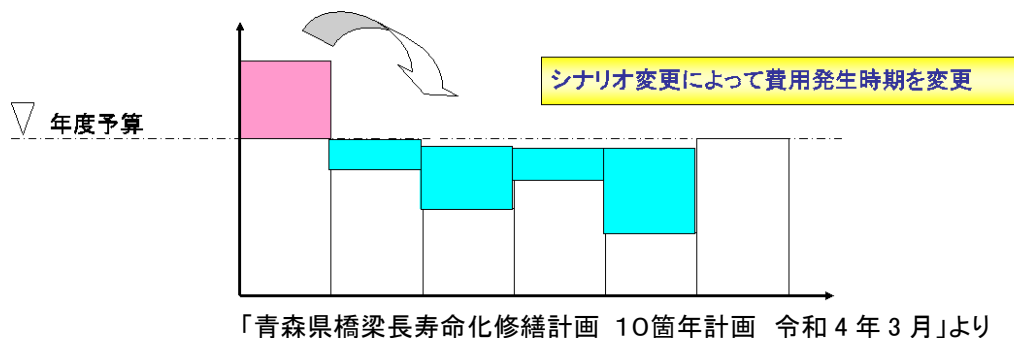


図 5-10 予算の平準化

## 6. 橋梁長寿命化修繕計画の概要

### (1) シナリオ別LCC算定結果

- ・ 図6-1は、維持管理シナリオごとに全橋梁のLCCを集計したものです。
- ・ 個別の橋梁ごとに選定したシナリオの中で、最もコストのかかる場合のLCCは92.3億円、LCCが最小となる維持管理をした場合は43.3億円となり、その差額は49.0億円となりました。

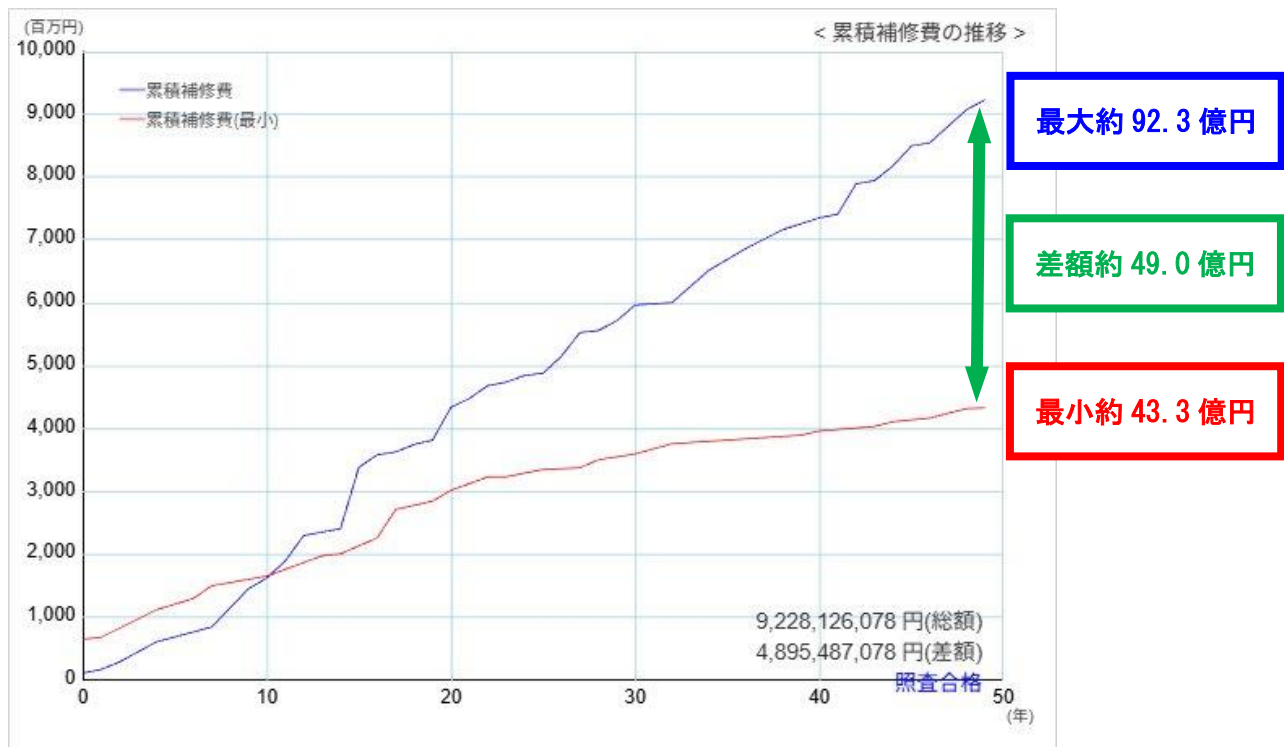


図6-1 全橋梁のLCC算定結果

## (2) 予算平準化

- ・ 50年間LCCが最小となるシナリオを選択して、全橋梁の50年間LCCを集計した結果、毎年必要となる対策費の推移は図6-2のとおりになりました。(LCC総額43.3億円)

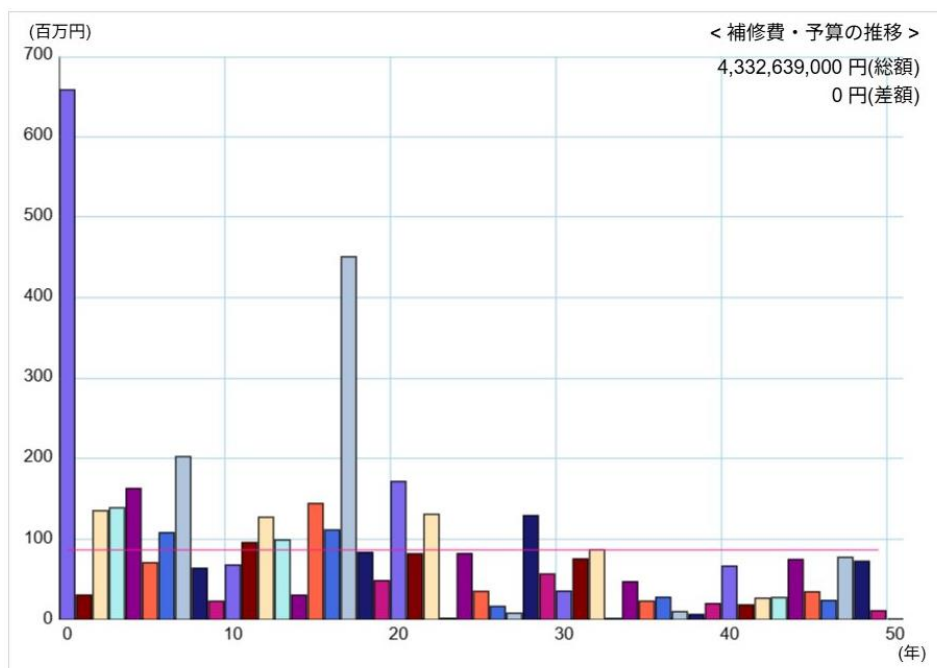


図6-2 50年間LCCが最小となるシナリオの組み合わせにおける補修費の推移

- ・ 【七戸町の補修費に対する予算制約】と【劣化予測に基づいて計算された対策実施年から4年以内に対策を行うこと】を予算平準化の条件として予算シミュレーションを実施した結果、図6-3に示すとおり50年間LCCは約43.4億円となりました。

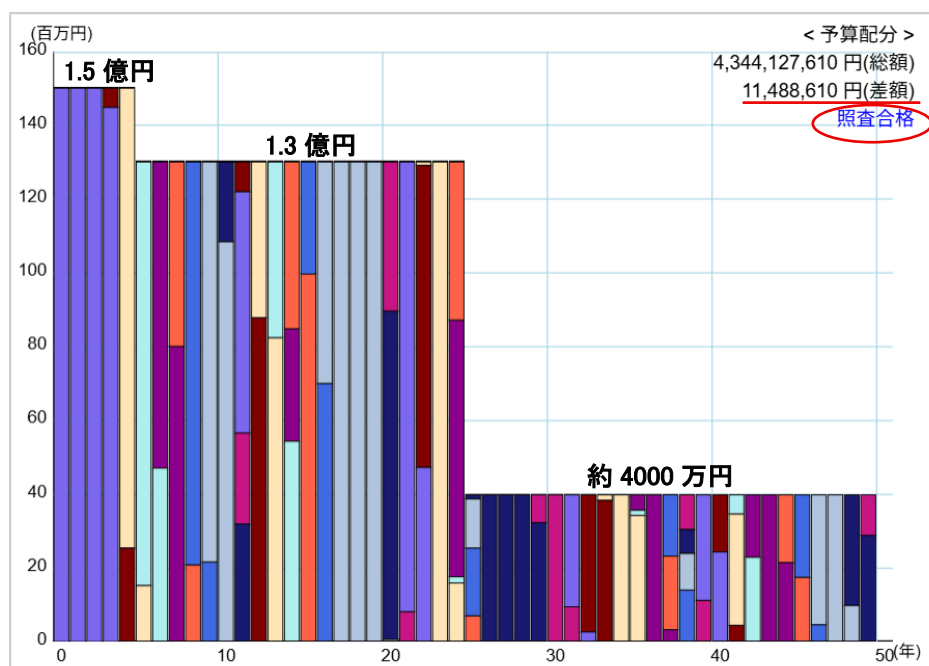


図6-3 予算制約を考慮した予算平準化結果

- ・予算シミュレーション（図6-2、3）前後で、シナリオ別橋梁数は表6-1に示すとおり変化しています。初期の予算額を制約したために、LCCが最小となるシナリオを選定した時点に比べて、平準化後の橋梁数はA2シナリオが減り、B1・B2シナリオが増えました。

表6-1 予算制約の考慮によるシナリオ別橋梁数の変化

シナリオ	平準化前の橋梁数	平準化後の橋梁数
A1（戦略的対策シナリオ）	0	0
A2（LCC最小シナリオ）	57	52
B1（早期対策シナリオハイグレード型）	32	36
B2（早期対策シナリオ）	8	9
C1（事後対策シナリオ）	6	6
C2（事後対策シナリオ構造安全確保型）	0	0
合計	103	103
補修費の総額	約43.3億円	約43.4億円

- ・以上のシナリオ変更を受けて、50年間の予算としては0.1億円増加して、総額43.4億円となりました。

### （3）長寿命化対策工事リスト

- ・予算シミュレーションにより決定した各橋梁の維持管理シナリオに基づき、今後10年間に実施する長寿命化対策工事リストの概要を表6-2に示します。

表6-2 長寿命化対策工事リストの概要

年度	橋梁名・事業内容	合計
令和8年度	宇道坂橋	1橋
令和9年度	柏葉橋	1橋
令和10年度	一の坂橋、作田橋、33の3号橋（定期点検）	3橋
令和11年度	白石橋、銀南木1号橋（定期点検）	2橋
令和12年度	治部袋橋、大林橋、榎林橋（定期点検）	3橋
令和13年度	長坂橋	1橋
令和14年度	砂子田橋、七戸こ道橋、大林橋側道橋(下)、銀南木橋	4橋
令和15年度	西野橋、原子橋、仙洞橋	3橋
令和16年度	和田下橋、和田橋、柏葉橋側道橋(上)、原久保橋、倉岡橋	5橋
令和17年度	第1荒熊内跨線橋	1橋
		24橋

## 7. 橋梁長寿命化修繕計画により見込まれるコスト削減効果

計画的更新橋梁と長寿命化橋梁を区分し、予防保全型維持管理を中心とした効率的な修繕計画を継続的に実施することにより、50年間で約48.9億円のコスト削減を図ることが可能であると試算されました。

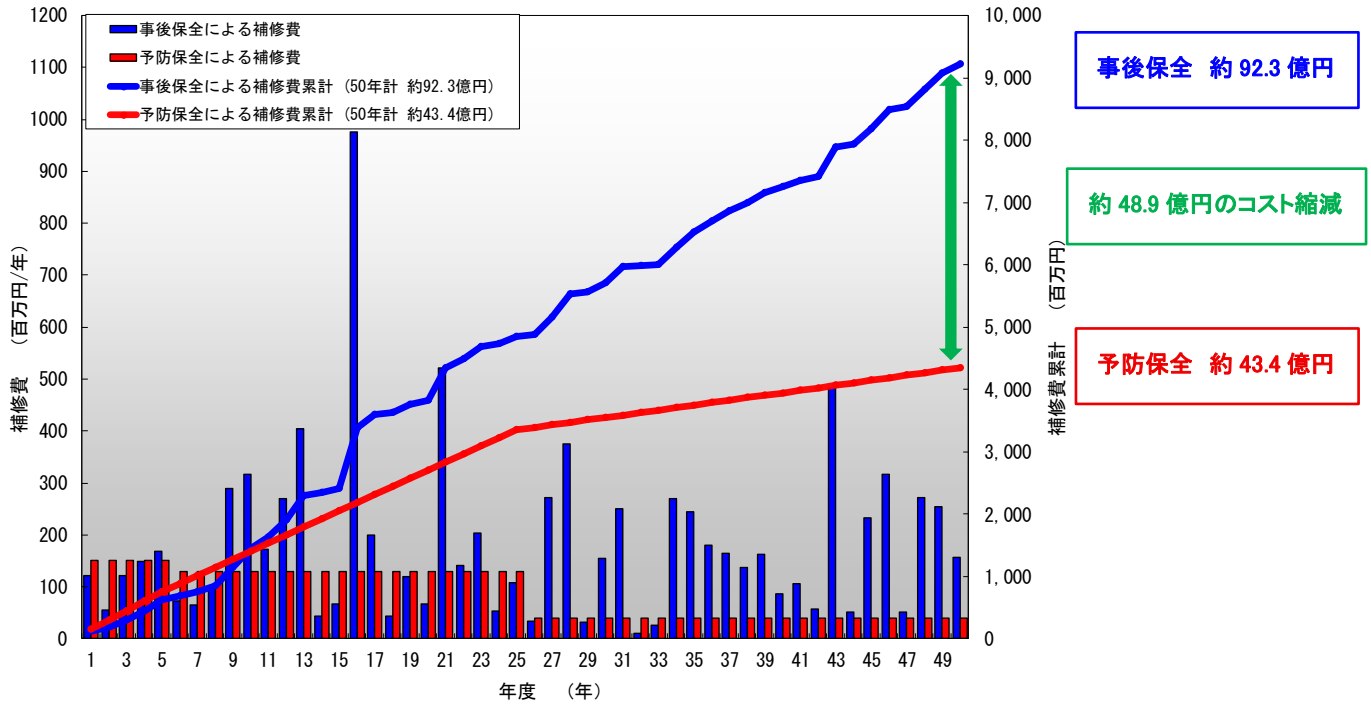
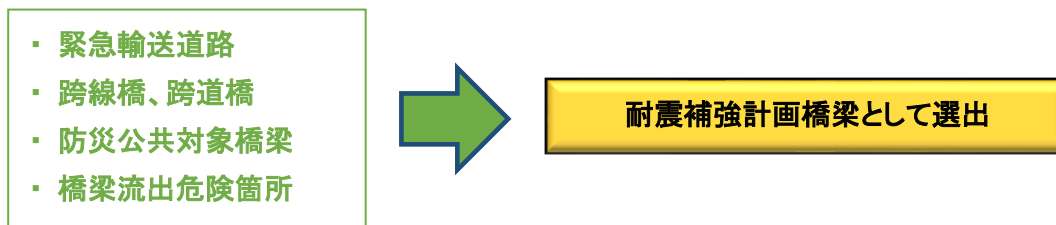


図7-1 橋梁のコスト削減効果

## 8. 耐震補強計画

優先的に耐震補強を実施する橋梁は、平成8年より前の道路橋示方書を適用し、耐震補強が未実施かつ下記のいずれかに該当する橋梁を耐震補強の必要な橋梁とします。



今後、青森県に倣い、七戸町においても対象となる橋梁について、耐震補強設計を実施することを目指していきます。

## 9. 洗堀対策計画

優先的に洗堀対策を実施する橋梁は、鉄道橋による手引きや最近の洗堀に関する知見等により、以下に示すような項目に該当する洗堀被害リスクの高い橋梁について、選定を行った上で洗堀対策を実施することを目指していきます。

- ・ 最小径間長、河積阻害率が河川構造令を満たさない。
- ・ 橋台、橋脚の基礎の安定性が低い。
- ・ パイルベント、ピアアバット、翼壁の無いラーメン構造を有する。
- ・ 河川改修により橋台前後の川幅が縮小されている。
- ・ 河床勾配が急である。
- ・ 水衝部に位置する。
- ・ 滲筋の変化が見られる。
- ・ 洗堀が見られる。 等

## 10. 費用縮減に関する今後の取組み

### 10.1 新技術の活用

国土交通省の「新技術情報提供システム (NETIS)」及び「点検支援技術性能カタログ」で活用可能な新技術を整理し、検討しました。

新技術としては、「橋梁点検ロボットカメラ」を採用し、対象となる橋梁2橋を選定しました。2030年(令和12年)までの5年間に、定期点検を実施する2橋については、上記の新技術を採用し、安全性及び作業性の向上、約5割程度のコスト縮減を目指します。

橋梁点検ロボットカメラ【高所型】 橋梁点検ロボットカメラ【懸垂型】



### 10.2 集約撤去方針

七戸町が管理する橋梁は、令和7年度現在で105橋と多く、橋梁の老朽化により、修繕費と更新費の増大が懸念されます。そのため、今回の点検結果から、橋梁の利用状況の変化や周辺の道路の整備状況、点検・修繕化・更新に係る中期的な費用を考慮し、橋梁の集約・撤去<sup>※1</sup>を行い、2030年(令和12年)までに約87.6百万円のコスト縮減を目指します。

※1 対象橋梁：迂回路が存在し、利用者が限定的な1橋



## 1.1. 事後評価

計画的維持管理のレベルアップを目的として、定期的に事後評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

5年ごとに実施する定期点検データを分析し、劣化予測データベースやLCC算定データベースの見直しを行うとともに、中期事業計画の見直しを行います。

また、10年ごとに事業実施結果を評価して、政策目的や維持管理方針の見直しを行うとともに、中長期計画の見直しを行います。

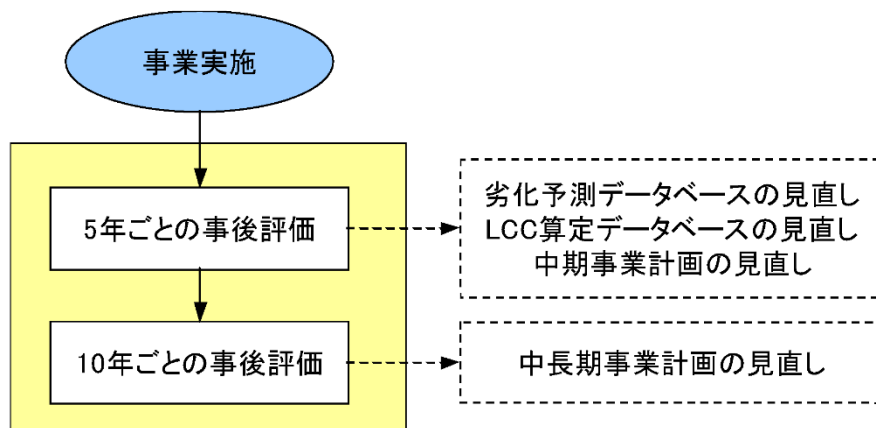


図11-1 事後評価

## 1 2. 橋梁長寿命化修繕計画策定に係る学識経験者の意見聴取

本計画は、学識経験者等の専門知識を有する方の意見を踏まえて策定しました。

【学識経験者】 阿波 稔 八戸工業大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授

【計画策定担当】 七戸町 建設課

### ○意見聴取会実施状況



# 1 3. 橋梁長寿命化対策工事リスト

対策橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・対策時期を示します。

  : 定期点検年度    
   : 定期点検+長寿命化計画検討年度    
   : 長寿命化計画検討年度    
 凡例: ← → : 対策を実施すべき時期

橋梁番号	橋梁名	路線種別	路線名	橋長	架設年次	供用年数	最新点検年次	シナリオ名	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度
402703701	宇道坂橋	2級町道	宇道坂・瑞龍寺線	41.7	1967	58	2025	B1	防護欄補修、地覆補修、主桁表面処理、床版補修									
402783604	柏葉橋	その他町道	北野・荒熊内線	37.88	1964	61	2025	A2		塗り替え、床版補修、下部工補修・表面処理	地覆補修、支承補修							
402701801	一の坂橋	2級町道	山岸・左組・牧場線	38.8	1978	47	2025	B1			塗り替え、床版補修、下部工補修、伸縮装置取替、防護欄取替							
402702301	作田橋	2級町道	宇道坂・五十貫田線	34	1967	58	2025	B1			塗り替え、床版補修、支承補修、下部工補修、地覆補修							
402803301	33の3号橋	2級町道	中野・野崎線	3	2017	8	2023	A2			主桁補修、防護欄取替							
402800101	白石橋	1級町道	倉沢・白石線	59.2	1984	41	2025	B1				塗り替え、床版補修、下部工補修、支承補修						
402700601	銀南木1号橋	その他町道	銀南木・深山園有林線	3.9	1985	40	2024	A2			床版補修、下部工補修・表面処理、地覆補修							
402721101	流部袋橋	2級町道	流部袋橋・流部袋橋線	18.45	1967	58	2025	B1				塗り替え、床版補修、支承補修、地覆補修						
402783601	大林橋	その他町道	北野・荒熊内線	10.74	1963	62	2025	B2			主桁補修、下部工補修、支承補修							
402801501	榎林橋	1級町道	榎林・才市田線	72.8	1967	58	2025	B1				床版補修、下部工補修、防護欄塗り替え、地覆補修						
402816601	長坂橋	その他町道	天間部・小又2号線	72.3	1970	55	2025	A2					塗り替え、床版補修、下部工補修、支承補修	地覆補修、支承補修				
402709801	砂子田橋	2級町道	鏡野・一の森線	17.1	1972	53	2025	A2							塗り替え、床版補修、下部工補修・表面処理、支承補修			
402710001	七戸ご道橋	1級町道	川去・小松原線	55	2014	11	2023	B1							主桁補修、地覆補修			
402783603	大井橋(下)	その他町道	北野・荒熊内線	16.5	1974	51	2025	B2								塗り替え、支承補修		
402700102	銀南木橋	2級町道	牧場・倉岡・度田線	24.85	1981	44	2025	A2								主桁補修、床版補修、下部工補修・表面処理、支承補修、伸縮装置取替、地覆補修		
402707001	西野橋	2級町道	高瀬敷・西野・八重平線	62.8	1975	50	2025	A2								塗り替え、床版補修、下部工補修・表面処理		
402805901	原子橋	その他町道	向原子・原子線	64.3	1984	41	2025	A2								主桁補修、床版補修、下部工補修、支承補修		
402811201	仙洞橋	その他町道	中野・向中野線	33.5	1976	49	2025	B1								塗り替え、床版補修、下部工補修、支承補修		
402702302	和田下橋	2級町道	宇道坂・五十貫田線	50.25	1967	58	2025	B1								塗り替え、床版補修、下部工補修、支承補修		
402706701	和田橋	2級町道	和田・道地奥線	32.9	1967	58	2025	B1								塗り替え、床版補修、下部工補修		
402783605	柏葉橋(上)	その他町道	北野・荒熊内線	38.1	1972	53	2025	B1								塗り替え、支承補修、下部工補修		
402830001	原久保橋	その他町道	十字路・長沢線	41.2	1973	52	2025	B1								塗り替え、床版補修、地覆補修、支承補修		
402700201	倉岡橋	2級町道	牧場・倉岡・銀南木線	18.7	1957	68	2025	B2								主桁補修、床版補修、下部工補修、支承補修		
402791201	第1荒熊内陸線橋	その他町道	駅南8号線	21	2007	18	2023	A2										下部工補修、伸縮装置取替